平成19年度
環境省中部環境パートナーシップオフィス
運営業務報告書（１－３月期）

平成20年3月31日

特定非営利活動法人　ボランタリーネイバーズ

【環境省中部環境パートナーシップオフィス　平成 19 年度１－３月期　事業報告】

【事業報告】

○今期は、Ⅰ協働提案事業では今年度事業の評価および継続についての検討、Ⅱ重点テーマ事業は次世代応援・ESD 普及啓発双方において総括プログラムの実施、Ⅲ地域リクエスト事業は今年度の目玉事業でもある政策提言・自治体職員を対象にした事業および多様な企業担当者をお招きし企業間連携について話しあう場の創出、Ⅴ運営協議会の開催、新規としてコミュニティファンド事業を実施した。行政および企業を対象にした事業、今年度事業の総括および評価が主な事業となった。

年度末でもあり、慌しく事業を実施してきたが、生み出した成果や培ったネットワークは次年度に有効につなげられることとを確信している。

また今年度事業の報告・決算をつくりスタッフ内自己評価を 5 つの指標をもちいて実施したが、課題がより明確になり、欠けていた視点をより充実させて次年度の事業計画をたてることができた。

○Ⅳ　通常業務　情報基盤整備

①　情報収集

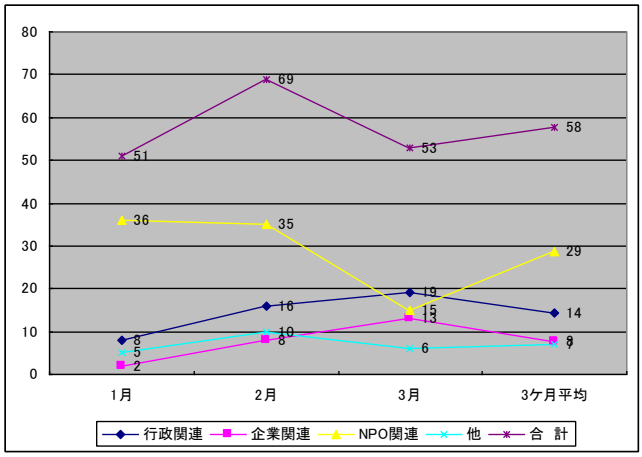
企業に関する情報が減ってきている。パートナーシップ促進に関する行政・企業の情報の入手が課題である。例えば管内自治体の協働に関する施策、企業の CSR や環境パートナーシップに関する情報などである。

	１月	２月	３月	３ヶ月合計	３ケ月平均
行政関連	8	16	19	43	14
企業関連	2	8	13	23	8
NPO 関連	36	35	15	86	29
他	5	10	6	21	7
合　計	51	69	53	173	58

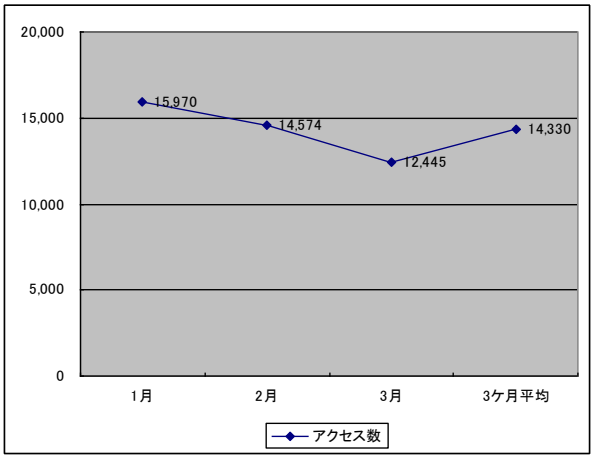
②ホームページアクセス数

更新が遅れ気味であることが原因であると想定できるが、アクセス数が減ってきている。長野や北陸などなかなか事業の実施ができない地域に対しての貴重な EPO 中部情報を伝えるツールであるため、ていねいにかつ読みやすい HP 製作を心がける。

	１月	２月	３月	３ヶ月合計	３ケ月平均
アクセス数	15,970	14,574	12,445	42,989	14,330



１月平均資料収集数

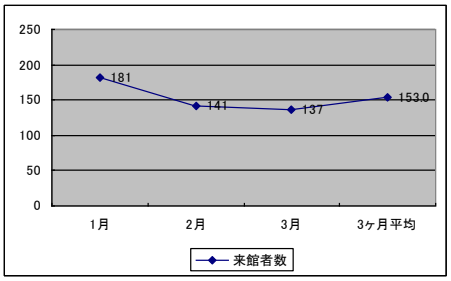


ホームページアクセス数

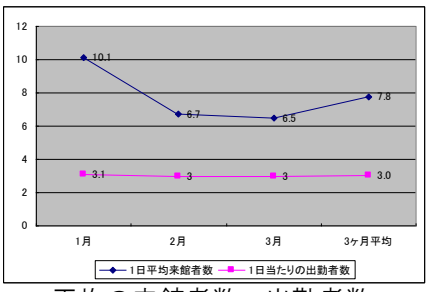
○Ⅳ通常業務　オフィス運営管理

前期同様来館者は１日平均７名程度、問い合わせ数、来館者数とも横ばいである。来館や電話でのパーナーシップ、協働、市民参加に対する相談ニーズが非常に多く、地域で自治体職員や企業の環境担当者、NPO（市民側）が課題を抱えつつもなんとか関係性を育み、地域課題の解決を促したいという思いを目の当たりにする。相談内容を分類体系化し、同じ課題をもつセクター・個人が共有し、越えるための情報共有や制度化など検討する場の必要性を感じている。

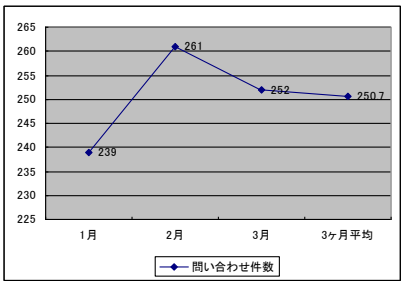
	１月	２月	３月	３ヶ月合計	３ヶ月平均
開館日数	18	21	21	60	20.0
来館者数	181	141	137	459	153.0
１日平均来館者数	10.1	6.7	6.5	23.3	7.8
問い合わせ件数	239	261	252	752	250.7
１日当たりの出勤者数	3.1	3	3	9.1	3.0



来館者数



平均の来館者数・出勤者数



問合せ数

【環境省中部環境パートナーシップオフィス　平成 19 年度１月事業報告】

【１月事業全般】

平成 19 年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務（１月）は、新規事業であるコミュニティファンド事業、2 月に実施する ESD に関するフォーラム、自治体職員経験交流の場である「環境パートナーシップ会議」、企業担当者経験交流の場である「環境コミュニケーションサロン」、協働提案事業リコー中部㈱エコひいき経験交流会の準備が主な業務となった。

【1 月事業/会議日程】

ESD の普及・啓発	１月６日	中部・東海 ESD 市民推進会議打合せ
ESD の普及・啓発 行政との協働の芽を探る	１月９日	かすがい KIZUNA お披露目フォーラム打合せ（中部地方環境事務所） 政策提言事業ゲストと事前打合せ（東海農政局）
行政との協働の芽を探る 情報の基盤整備 協働提案事業 ESD の普及・啓発	１月 10 日	愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの打合せ 幼い難民を考える会との打合せ ユニー㈱お店探検隊（鳴海店）の打合せ かすがい KIZUNA プロジェクト打合せ
ESD の普及・啓発	１月 11 日	中部･東海 ESD 市民推進会議打合せ
協働提案事業	１月 13 日	中部電力㈱エコポイント事業取材（岐阜県梅林児童館）
ESD の普及・啓発	１月 14 日	中部 ESD 拠点協議会設立フォーラム
情報の基盤整備 情報の基盤整備	１月 15 日	P 工房とコンサルティング ㈱フルハシ総合環境研究所とコンサルティング
行政との協働の芽を探る 協働提案事業	１月 16 日	協働型環境政策づくりのための戦略会議（政策提言事業） ユニー㈱お店探検隊 IN 鳴海店打合せ
協働提案事業 ESD の普及・啓発	１月 17 日	リコー中部㈱エコひいき事業打合せ ESD－T 担い手会議
ESD の普及・啓発 ESD の普及・啓発 次世代応援プロジェクト	１月 18 日	北九州 ESD 協議会講師出張（～19 日） 次年度 ESD 講座講師との打合せ 第 4 回志サロン
協働提案事業 ESD の普及・啓発	１月 21 日	ユニー㈱お店探検隊打合せ（ユニー㈱） とよた ESD 分野連携ワークショップ
ESD の普及・啓発	１月 22 日	ESD フォーラム打合せ（中部地方環境事務所）
協働提案事業 企業との協働の芽を探る 次世代応援プロジェクト	１月 23 日	デンソー㈱デコポン事業打合せ 環境省 CSR 調査事業打合せ なごや環境大学講座志サロン事前打合せ
企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発 ESD の普及・啓発 企業との協働の芽を探る	１月 24 日	環境コミュニケーションサロン（ワシントンホテル㈱・中日本高速道路㈱）打合せ ESD-T 担い手会議 ESD フォーラムに関する打合せ CSR 取材
運営協議会の開催	１月 25 日	千頭氏との打合せ（事業計画に関して）
協働提案事業	１月 26 日	ユニーお店探検隊（鳴海店）
ESD の普及・啓発	１月 27 日	第 1 回伊勢・三河湾流域 ESD フォーラム
企業との協働の芽を探る	１月 29 日	CSR 取材
ESD の普及・啓発 協働提案事業	１月 30 日	環境省受託事業 ESD フォーラム会場下見 リコー中部㈱エコひいき事業報告書打合せ
環境パートナーシップ 協働提案事業	１月 31 日	なごや環境大学プロジェクトチーム打合せ リコー中部㈱エコひいき事業報告書打合せ

【Ⅳ　通常業務　情報基盤整備】ホームページアクセス数　15,970 件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合　計
	8 種	2 種	36 種	5 種	51 種

【Ⅳ　通常業務　オフィス運営管理】

1　月 開館日数 18 日	来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	展示内容	スタッフ数
合計 平均	181 名/18 日 10.06/日	239 件	今日の子どもの幸せが明日の平和な世界につながります。 幼い難民を考える会	74 人 3.1 人/24 日

【事業報告】

Ⅰ　協働提案事業

事業内容	報告・成果	課題
1 月 13 日 中部電力㈱エコポイント事業取材 岐阜県梅林児童館 学びのテーマ「水を知ろう」 参加者：小学校 1～6 年生約 15 名 運営協議会メンバー　1 名 EPO スタッフ　1 名	中部電力㈱がエコポイント事業のポイント還元としてプレゼントした環境学習実験キットを使い環境学習をする現場の見学と担当者の取材を行った。地域のニーズや実施にあたっての課題等を把握した。	子どもたちが自主的に集まる児童館をいかに地域の学びの拠点として活用していくか、今後提案をしていきたい。
1 月 26 日 ユニー㈱アピタ鳴海店お店探検隊 場所：アピタ鳴海店 参加者：ユニー㈱環境部担当者、アピタ鳴海店店長・社員、緑区子ども会保護者 4 名、インタープリター4 名、EPO スタッフ 1 名	昨年実施したユニー㈱提供お店探検隊インタープリター要請講座修了生が初めてプログラムを企画・実施。今回は地域の子ども会と協働で実施した。子ども会とのネットワークをつくることができた。	インタプリター修了生の集団が自発的自立的に動けるようサポートすること。
【総括及び所見】 現場で話をお聞きする中で、環境学習を実施したいが実践者とつながることができないという課題があった。環境学習を実施したいというニーズと環境学習を実施する場所や担う団体・人を結び付ける機能が必要である。地域に学びの仕組みを作るうえでもそのコーディネーションが非常に重要である。		

Ⅱ　重点テーマ　次世代応援

事業内容	成果	課題
Ｉ月 18 日 志サロン 「『やばい！』から始まった！ ～前田拓さんに聞く～」 【ねらい】 ゲストの話を受け、自分が感じた課題の解決や思いの実現に向け、関係者とどう向き合うかを見直す。 【ゲスト】 前田　拓さん （岐阜県環境生活部地球環境課） 聞き手：宇野　由美子 （EPO 中部スタッフ） 参加者　13 名	「どんな立場でも、自分の取り組みたいことには関わることができる」等の前田氏の志と岐阜県における施策状況を伺い、環境活動のポイント等についてトークセッションを行った。各々の環境への取り組みをさらに促進、実践していくために、どのような観点で前進を試みることができるか、ワークショップを実施して見出した。	参加者の持つ課題意識を社会に表現する、社会に向けた行動につなげるために、どのようにサポートし動いていくかの検討。 参加者の確保。

【総括及び所見】
ゲストの熱い志を受け、参加者同士互いの話を聞き合い、真剣に話し合う場をつくっている。参加者同士モチベーション高めあう関係をどうつくり、どう行動につなげていくかが課題である。

Ⅱ　重点テーマ　ESD 普及・啓発

事業内容	報告・成果	課題
1 月 14 日 中部 ESD 拠点協議会設立フォーラム 国連大学の RCE 認証を受け、そのお披露目フォーラム。	中部大学、名古屋大学、三重大学、岐阜大学、東海・中部 ESD 市民推進会議、EPO 中部が運営委員となり協議会をすすめていく報告があった。	中部における ESD 活動をいかにつなぎ、それぞれの活動を強めていくか、EPO 中部の役割・機能をどこにおくか、早急に明確にする必要がある。
1 月 17 日 ESD-T 担い手会議 ESD 関連スケジュール確認 次年度なごや環境大学講座の報告 ESD フォーラム準備	ESD フォーラムのねらい、全体の流れ等を確認し、分科会担当、役割分担等について案を出した。	仕事として担う EPO スタッフと、ボランタリーで担う ESD-T のメンバーが、それぞれウィンウィンの関係で実施していけるよう、ねらいや役割等を確認しながら進めることが課題である。
1 月 21 日 第 1 回とよた ESD 分野連携ワークショップ 主催　とよた ESD ワークショップ実行委員会 共催　ESDーJ 場所　とよた市民活動センター 参加者　33 名 ESDーJ のもつソフトである ESD シナリオワークショップを豊田市で実施。	第 1 回ワークショップの目的と参加者自己紹介を実施。参加者と ESD の接点、地域における分野連携の可能性を探った。 ESD-T 宣言として E「E でつながる」、S「自然と人の接点を、ここから START」D「どうして？と思うところから」T「とりあえず、私たちを知ってください」という 4 つの指針を作成した。	多様な分野で活動している人が集まっている。今後この集まりをどう継続させていくか、運営組織基盤をどうするのか、EPO がどう関っていくか検討課題である。
1 月 24 日 ESD-T 担い手会議 ＊ESD フォーラムの準備	2 月に実施する ESD フォーラムについて ESD-T のメンバーと意見交換した。タイムスケジュール・役割分担の確認・決定、変更点等の状況・当日配布物、分科会の企画について共有した。	ESD-T メンバーがこのフォーラムに参画することで、さらに ESD 活動が強化されるようサポートすること
1 月 27 日 第 1 回伊勢・三河湾流域 ESD フォーラム 場所：中部大学 流域の上・中流からの報告 流域の中・下流からの報告 流域の最下流・海外からの報告 持続可能な懇親会 参加者：約 80 名	この地域で活動している NPO、市民団体、商店街、企業、大学等の活動プレゼンテーションがあり、ネットワークを育む場となった。	イベントだけでなく、日常的な活動の中で育んだネットワークを活かすこと、さらに日常的な情報交換のしくみをつくること。

【総括及び所見】
東海地域における ESD 活動が活発化している。多様な組織ができ、地域でも多様な取り組みがなされている。EPO としては、他団体のサポートという側面と環境省の施設という強みをいかして、自治体へのアプローチや政策提言機能の強化という部分を担っていく。

Ⅲ　地域リクエスト事業　企業との協働の芽を探る

事業内容	報告・成果	課題
1 月 24 日 CSR 調査「中部電力株式会社（愛知県)」 社員と地域の子ども､市民団体とを結ぶエコポイント事業についての調査と検証を実施。 1 月 29 日 CSR 調査「ユニー株式会社（石川県)」 店舗を活用した子どもと市民団体とをつなぐ環境学習事業についての調査と検証を実施。	本事業を活用して協働事例の分析とモデルを広く社会に周知する一つの機会となった。ことができた。	調査事業を基に企業と地域､NPO とのコミュニケーションの機会を広げる場づくりやその協働を促進させるような地域のネットワーキング化をどのように創出していくかが課題である。
【総括及び所見】 環境省の事業ではあるが、本事業を遂行して地域の各主体に与える成果が少ない。この調査事業のアウトプットがこれから取り組もうとしている団体の後押しになることや地域協働の促進につながるような、地域の各主体に対してアウトカムが生まれる内容にしていかなければいけない。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　行政との協働の芽を探る		
事業内容	報告・成果	課題
1 月 16 日 協働型環境政策づくりのための戦略会議（政策提言事業） 参加者：22 名 民間から提起された 3 企画について、多様な主体によりブラッシュアップを行い､政策内容を充実した。最終企画については環境省環境政策提言へ応募した。	EPO 中部圏域で積極的に環境施策に取り組んでいる自治体職員と交流することで、行政側の協働（パートナーシップ）に関する課題や今後の方向性をヒアリングすることができた。	今回交流した自治体職員の方を EPO に巻き込み､パートナーシップ型の環境政策をいかにつくるか、市民参加をどうすすめるか、パートナーシップの弊害は､といったテーマでの意見交換のテーブルを早急につくること。
【総括及び所見】 地方自治体の政策の課題や施策実施に向けた展開と民間のアイデアや実践力等をつなぐことは EPO の特質を活かし取り組めることではあるため、地域リソースと地域課題を組み入れて効率的・効果的に事業を推進したい。各自治体が共通で取り組める政策企画を用い、自治体間・官民共に同じテーブルで政策づくりが展開できる機会を実施していくことも次の展開として考えられる。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
1 月 31 日 なごや環境大学講座チーム会議	なごや環境大学の講座のあり方について検討段階に入っている。どう進化させていくか意見交換した。	学びを行動へ、単体から協働へ、抱えている課題は EPO と非常に似ている｡講座という手法を使っていかにそれを実現できるか､パートナーシップの重要事例として多様な提案をしていく。
【総括及び所見】 なごや環境大学は、多様なステークホルダーが参加しておりそれぞれの知見・経験・ノウハウ・ネットワークを持ち寄り、いかに協働による新たな学びの内容･しくみをつくるかの実験プロジェクトである。そのプロセスにしっかり参画し、パートナーシップの阻害要因がなにか、成果がどう生み出されていくかを一つの事例として社会に提示していく。		

＊参考資料

【1 月月報】

1　月		来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	火			冬季休暇	
2	水			冬季休暇	
3	木			冬季休暇	
4	金			冬季休暇	
5	土			冬季休暇	
6	日				
7	月				
8	火	8(6)	15(11)	中部 ESD 拠点市民推進会議ミーティング	4
9	水	12(10)	16(13)	環境省中部地方環境事務所との ESD フォーラムに関するミーティング	4
10	木	16(11)	14(10)	温暖化防止推進センター児玉氏との打合せ 幼い難民を考える会高木氏との打合せ ユニー㈱お店探検隊（鳴海店）の打合せ かすがい KIZUNA ミーティング	3.5
11	金	9(7)	12(9)	中部 ESD 拠点市民推進会議ミーティング	4
12	土	2(0)	4(2)		3
13	日			中部電力㈱エコキット実験取材(岐阜市梅林児童館)	0.5
14	月			中部 ESD 拠点設立フォーラム	1.5
15	火	7(5)	16(13)	長谷川氏との打合せ	4
16	水	11(8)	14(10)	ユニー㈱お店探検隊打合せ	4
17	木	18(15)	18(16)	リコー中部㈱との打合せ エコひいきの打合せ ESD-T 担い手会議	4
18	金	22(19)	14(13)	北九州 ESD 協議会出張 次年度 ESD 講座ゲストとの打合せ（四日市） 志サロン第 4 回	4
19	土	5(2)	3(0)		3
20	日				0.5
21	月			ユニーお店探検隊打合せ	1.5
22	火	11(6)	17(15)	環境省中部地方環境事務所との ESD フォーラムに関するミーティング リコー中部㈱と打合せ	4
23	水	15(10)	14(9)	㈱デンソーとの打合せ 志サロン第 5 回打合せ	4
24	木	12(9)	19(15)	ワシントンホテル㈱との打合せ NEXCO 中日本㈱との打合せ ESD-T 担い手会議との ESD フォーラムに関するミーティング	3.5
25	金	7(5)	17(16)	千頭氏との打合せ	4
26	土	2(1)	1(0)	ユニー㈱お店探検隊（鳴海店）	3
27	日			第 1 回伊勢・三河湾流域圏 ESD フォーラム	0.5
28	月				2
29	火	8(3)	15(13)		4
30	水	6(5)	10(9)	ESD フォーラム下見（願王寺） 内藤氏とのエコひいきに関するミーティング	4
31	木	10(8)	20(17)	なごや環境大学のミーティング エコひいき報告書打合せ 萩原氏との打合せ	3.5
合計 平均		181 名/18 日 10.06/日	239 件,		74 人 3.1 人/24 日

ホームページアクセス数：15,970 件

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

＊１月期収集資料　行政関連：８種　企業関連：２種　ＮＰＯ関連：36 種　その他：５種　計：51 種

タイトル	年度	発　行	備考
「森への招待状」シンポジウムのご案内	2007	中部電力株式会社	A4　1P　日本語 2007　発行
モニタリングサイト里地調査　一般サイト募集のご案内	2007	（財）日本自然保護協会　保全研究部	A4　40P　日本語 2007　発行
がらぼうだより　Vol.139	2007	NPO 法人　ガラ紡愛好会	B4　1P　日本語 2007　発行
雑木林　2008 年　1 月号 Vol.206	2007	豊田市自然観察の森	A4　4P　日本語 2008　発行
イベント案内　パークセンターで楽しい体験しませんか！？	2007	国立木曽三川公園　アクアワールド水郷パークセンター	Ａ４　4P　日本語 2008　発行
がらぼうだより　Vol.140	2007	NPO 法人　ガラ紡愛好会	B4　1P　日本語 2008　発行
あなたが守る美しい日本の川と海・・・　ひろげようキレイな水のある暮らし	2008	環境省	A4　8P　日本語 2008　発行
魅せます！使います！あなたもおしゃれにふろしき活用術！	2007	なごや環境大学実行委員会事務局	A4　1P　日本語 2007　発行
平田シェフ in 福島　短期合宿　集中講座のご案内	2007	むらかみ自然農園	A4　2P　日本語 2007　発行
名古屋市のごみ減量・処理の計画案について未来のためにご意見ください！	2007	名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室	A4　1P　日本語 2007　発行
eco-T　エコット　通信　第４号	2007	eco-T　エコット　豊田市環境学習施設	A4　4P　日本語 2007　発行
プロジェクト･ワイルド　発見！環境教育指導方法とプログラム	2007	木曽三川公園　アクアワールド水郷パークセンター	A4　1P　日本語 2007　発行
イベント案内　冬は､お部屋で！　みんなでパークセンターに行こう！！	2007	アクアワールド水郷　パークセンター	A4　4P　日本語 2007　発行
「自然体験クラフトリーダー養成講座」開催	2007	ART&LIFE 自然学校	A4　1P　日本語 2008　発行
ボラネイ☆キャラバン　vol.14　コミュニティ再生への提案	2007	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ	A4　30P　日本語 2007　発行
VNS 事業一ロレポート　2007.12.25	2007	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ	A3　1P　日本語 2007　発行
「布川の花祭り」体験塾参加者募集	2007	山村資源活用協議会	A4　1P　日本語 2007　発行
甲冑づくりをしよう！　甲冑づくり養成講座	2007	特定非営利活動法人犬山市民活動支援センターの会	A4　1P　日本語 2008　発行

グラウンドワークフォーラム	2007	NPO 法人グラウンドワーク東海	A4　1P　日本語 2008　発行
『環境』から『サスティナビリティ』へ	2007	特定非営利活動法人『持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議（ESD-J）	A4　1P　日本語 2007　発行
持続可能な社会のための「人」づくり	2007	特定非営利活動法人『持続可能な開発のための教育の 11 年」推進会議（ESD-J）	B5　10P　日本語 2007　発行
ESD レポート　vol.13　2007 冬	2007	NPO 法人「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議	A4　8P　日本語 2007　発行
日経ビジネス　50 人が語る経営語録　2008 年新春ダイジェスト版	2007	日経 BP 社	B5　4P　日本語 2007　発行
エコモチ　あなたの会社は社会や地球環境に対してプラスですか、マイナスですか？	2007	エコモチ事務局	A4 三つ折 1P　日本語 2008　発行
環境破壊と創造	2007	東京ボランティア・市民活動センター	A4　1P　日本語 2008　発行
中部 ESD 拠点　フラッグシップ・プロジェクト　第 1 回　伊勢・三河湾流域圏 ESD フォーラム	2007	中部大学伊勢・三河湾流域圏研究会、東海・中部地域「持続可能な発展のための教育の 10 年」市民推進会議	A4　1P　日本語 2008　発行
つな環　つ★な★ぐ★環境パートナーシップ第 11 号	2007	地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)/ 環境パートナーシップオフィス(EPO)	Ａ４　16P　日本語 2007.12　発行
ART&LIFE 自然学校	2007	ART&LIFE 自然学校	A4　1P　日本語 2007　発行
愛・地球博記念公園　もりの学舎	2007	愛・地球博記念公園　もりの学舎	A3 折畳　1P　日本語 2007　発行
鴨下大臣と語る　希望と安心の国づくり	2007	内閣府国民対話担当室	A4　1P　日本語 2008　発行
生物多様性 COP１０・NGO フォーラム	2007	生物多様性 COP10・NGO フォーラム実行委員会　国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）	A4　1P　日本語 2008　発行
持続可能な社会のための「人」づくり	2007	持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議	B5　10P　日本語 2008　発行
人生リセット大作戦！	2007	名古屋 YWCA　青少年部委員会	A4　1P　日本語 2007　発行
ふれあいマッチ	2007	国営木曽三川公園　長良川サービスセンター	A4　1P　日本語 2007　発行

よっ Toy でおもちゃ図書館　広げよう心のバリアフリー	2007	財団法人　日本児童福祉協会	B5　1P　日本語 2007　発行
FLIPPER VOL.9　2008　WINTER	2007	アイサーチ・ジャパン	Ｂ５　16P　日本語 2008.1.1　発行
ACCU アジア太平洋 ESD フォトメッセージ･コンテスト『明日への手紙 2007』	2007	ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）	A4　1P　日本語 2007　発行
NPO スタッフ必修講座　仕事の問題を解決する	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　1P　日本語 2007　発行
ぼらんぽ　vol.54	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　8P　日本語 2007　発行
事業報告書作成セミナーと NPO アドバイザー（専門）個別相談	2007	NPO 法人ボランタリーネイバーズ	A4　1P　日本語 2007　発行
NPO アドバイザーがあなたの相談に応えます	2007	NPO 法人ボランタリーネイバーズ	A4　1P　日本語 2007　発行
ひらひらします。T シャツ作品募集　20TH	2007	特定非営利活動法人　NPO 砂浜美術館	A4　1P　日本語 2007　発行
「銀杯作りと酒蔵めぐり」セミナー開催	2007	パスカル清見･ART&LIFE 自然学校	A4　1P　日本語 2007　発行
つながれっと NAGOYA　利用案内	2007	つながれっと NAGOYA　名古屋市男女平等参画推進センター	A4 三つ折 1P　日本語 2007　発行
ZERO から見つめる市民と行政と社会	2007	つながれっと NAGOYA	A4　1P　日本語 2007　発行
「男女共同参画統計」ワークショップ　データが拓く調査と研究。	2007	つながれっと NAGOYA	A4　1P　日本語 2007　発行
地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル	2007	つながれっと NAGOYA	A4　1P　日本語 2007　発行
インドと日本を結ぶエコロジーART 展	2007	特定非営利活動法人ソムニード	ハガキ大　1P　日本語 2007　発行
平成 19 年版　環境白書	2007	愛知県	A4　248P　日本語 2007.12　発行
名古屋市　第 4 次　一般廃棄物処理基本計画素案　～「環境首都なごや」への挑戦～	2007	名古屋市	A4　96P　日本語 2007.12　発行
日系エコロジー　eco　February　2008	2007	日経 BP 社	A4　134P　日本語 2008.1.8　発行

【環境省中部環境パートナーシップオフィス　平成 19 年度２月事業報告】

【２月事業全般】

平成 19 年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務（２月）は、ESD に関するフォーラム、自治体職員経験交流の場である「環境パートナーシップ会議」、企業担当者経験交流の場である「環境コミュニケーションサロン」、協働提案事業リコー中部㈱エコひいき経験交流会を主に実施した。

【２月事業/会議日程】

協働提案事業	２月１日	リコー中部㈱経験交流会企画についての打合せ
ESD の普及・啓発	２月２日	環境省受託事業かすがい KIZUNA お披露目フォーラム打合せ
ESD の普及・啓発	２月３日	名古屋大学 ESD フォーラム
ESD の普及・啓発	２月４日	とよた ESD 分野連携ワークショップ
企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月５日	中部電力㈱環境コミュニケーション事業打合せ 愛知中小企業家同友会環境コミュニケーション事業打合せ ㈱INAX 環境コミュニケーション事業打合せ ㈱デンソー環境省受託事業 ESD フォーラム事業打合せ ESD-T 担い手会議　環境省受託事業 ESD フォーラム事業打合せ
企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月６日	㈱デンソー環境コミュニケーションサロン事業･デコポン事業打合せ 環境省受託事業かすがい KIZUNA お披露目フォーラム打合せ（中部地方環境事務所）
環境パートナーシップ 情報の基盤整備 企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月７日	なごや環境大学幹事会 名古屋市 COP10 に関する打合せ ㈱山田組環境コミュニケーション事業打合せ 中部 ESD 拠点協議会
企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月８日	EPOC 環境コミュニケーション事業打合せ ブラザー工業㈱環境コミュニケーション事業打合せ かすがい KIZUNA お披露目フォーラムプレ講座
ESD の普及・啓発	２月９日	環境省受託事業　かすがい KIZUNA お披露目フォーラム
行政との協働の芽を探る	２月 12 日	自治体経験交流会
協働提案事業	２月 13 日	リコー中部㈱エコひいき事業打合せ
ESD の普及・啓発 次世代応援プロジェクト	２月 15 日	ESD 地域コーディネーター経験交流会 第 5 回志サロン
ESD の普及・啓発	２月 16 日	ESD 地域コーディネーター経験交流会
運営協議会の開催 協働提案事業 コミュニティファンド支援 ESD の普及・啓発	２月 18 日	千頭氏と打合せ（事業報告について） リコー中部㈱エコひいき事業打合せ コミュニティファンド事業打合せ とよた ESD 分野連携ワークショップ
企業との協働の芽を探る 協働提案事業	２月 20 日	㈱にんじん環境コミュニケーションサロン事業打合せ リコー中部㈱エコひいき事業打合せ
企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る 企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月 21 日	中日本高速道路㈱環境コミュニケーション事業打合せ ワシントンホテル㈱環境コミュニケーションサロン事業打合せ ユニー㈱環境コミュニケーションサロン事業打合せ ESD-T 担い手会議
情報の基盤整備	２月 22 日	名古屋市ものづくり拠点構想事業打合せ
コミュニティファンド支援	２月 24 日	コミュニティファンド事業ワークショップ（岐阜県）
協働提案事業	２月 25 日	リコー中部㈱エコひいき 2007 経験交流会
情報の基盤整備 企業との協働の芽を探る ESD の普及・啓発	２月 26 日	名古屋市温暖化施策に関する打合せ ワシントンホテル㈱打合せ 安城市 ESD 事業打合せ
企業との協働の芽を探る 情報の基盤整備 企業との協働の芽を探る	２月 27 日	中日本高速道路㈱打合せ 瑞穂区役所次年度協働施策打合せ ユニー㈱と環境コミュニケーションサロン事業打合せ
協働提案事業	２月 28 日	リコー中部㈱エコひいき報告書打合せ
企業との協働の芽を探る	２月 29 日	環境コミュニケーションサロン事業

【Ⅳ　通常業務　情報基盤整備】ホームページアクセス数　14,574 件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合　計
	16 種	8 種	35 種	10 種	69 種

【Ⅳ　通常業務　オフィス運営管理】

１０　月 開館日数 22 日	来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	展示内容	スタッフ数
合計 平均	141 名/21 日 6.71/日	261 件	今日の子どもの幸せが 明日の平和な世界につ ながります。 幼い難民を考える会	86 人 3.0 人/28 日

【事業報告】

Ⅰ　協働提案事業		
事業内容	報告・成果	課題
2 月 25 日 リコー中部㈱エコひいき報告･経験交流会 参加者：29 名 リコー中部販売グループ全 7 県の販売会社担当者、愛知･石川の営業社員、リコー中部㈱担当者、愛知･石川 2007 年度の助成団体、エコひいき関係者にヒアリング・アンケートと、その結果を改善するための意見交換会を実施した。	各販社担当者の生の声を抽出することができ、企業と NPO とが継続的に協働し、メリットを出していくための要素を抽出した。また、単に社会貢献ではない、CSR 経営に向けた経営面のカギも挙げることができた。	助成団体の新規開拓や他企業へのアプローチでは効果的な広がりをつくることができず、また、地域の担い手づくりの面でも結果が乏しい。
【総括及び所見】 助成団体の中には、企業から一方的に助成金等をもらう立場から、企業の利益につながるような活動を組み込むなど提供する立場の助成団体も現れた。事業を継続して行ってきた成果でもある。社内体制と助成団体が共に向上することが地域の環境課題改善につながる大きな原動力になるとも言える。		

Ⅱ　重点テーマ　次世代応援		
事業内容	報告・成果	課題
2 月 15 日 第 5 回志サロン 「まちの縁側育くみます！ 　　～名畑　恵さんに聞く～」 【ねらい】 ゲストの話を受け、自身も地域の担い手であり、思いをカタチにしていくことの大切さを見直す。 【ゲスト】 名畑　恵さん(NPO 法人まちの縁側育くみ隊スタッフ) 矢内　淳さん （なごやボランティア･NPO センターアドバイザー） 参加者　12 名	「自分の表現しにくい思い、やりたいことを積み重ねてカタチづくっていくこと」等の名畑氏の志とまちの縁側育くみ隊で実践されている取り組みを伺った。自分の地域は自分たちで担い、必要な場や機会を創出する必要性についてトークセッションを行い、参加者ワークショップにて各々の課題意識や地域課題等のつぶやきを抽出し、マップづくりをした。	参加者が感じる課題・思いを共有し、表現する場を、短い時間の中でいかにつくり、次につながるための成果を残すこと。
【総括及び所見】 講座を通して参加者が見出してきたこと、積み重ねてきたことをいかに形にし社会に表現していくか、またゲスト、参加者をつなぎ動く集団を作っていくか、社会をつくる行動につなげるかが課題である。		

Ⅱ　重点テーマ　ESD 普及・啓発		
事業内容	報告・成果	課題
2 月 3 日 名古屋大学 ESD フォーラム 参加スタッフ 2 名	名古屋大学が環境学研究科、国際開発学科と共同で実施した国際シンポジウム。RCE 認定を受け、今後どのような事業を展開していくかの紹介などがあった。	EPO としていかに高等機関と連携し事業を生み出していくか、中部 ESD 協議会を活用して具体化することが課題である。

2 月 4 日 第２回とよた ESD 分野連携ワークショップ 主催　とよた ESD ワークショップ実行委員会 共催　ESDーJ 場所　とよた市民活動センター 参加者　33 名 ESDーJ のもつソフトである ESD シナリオワークショップを豊田市で実施。	第 2 回は ESD に参加者が持っている ESD の種を探し、ESD につながる大きなシナリオをつくった。自分史から始める ESD ワークショップや ESD 資源マップを作成した。	実現可能に近づけるため議論を具体化すればするほど、参加者から新しいことに着手する時間がない、組織で参加するかの判断がいるなどの意見がでた。ワークショップに成果をいかに現実に活かすかが課題である。
2 月 7 日 中部 ESD 拠点協議会 EPO スタッフ　1 名	中部 ESD 拠点協議会の運営方法について運営委員会にて協議。	いかに具体的な事業展開を図るか、情報収集･提供機能をもつか、今後さらなるつめが必要である。EPO として何を提供していくかも検討課題である。
2 月 8 日 かすがい KIZUNA お披露目フォーラムプレ講座 「学校と地域がつながると、こどももおとなもみんなが変わった！」	全国的にも有名な千葉県の秋津コミュニティの仕掛け人である宮崎元校長をゲストに、学校と地域、教員と市民がつながると地域にどんな変化が起きるのかについて伺った。	学校現場の事例を取り上げたことで、学校、教員、学校と地域の関係など現状を知ることができた。これまで弱かった学校との関わりを強化したい。
2 月 9 日 環境省受託事業 かすがい KIZUNA プロジェクトお披露目フォーラム オリエンテーション 「かすがい KIZUNA プロジェクト」の実践報告 ６つの分科会「ESD 的地域の学びをつくる」 全体共有	「かすがい KIZUNA プロジェクト」の実践報告を受けて、課題の抽出と整理、その解決およびこの地域の ESD を推進していくの糸口・キーワードを模索するため、6 つのテーマで分科会に分かれて話し合い、いくつかのキーワードを見出した。	このフォーラムで共有した「かすがい KIZUNA プロジェクト」の課題は、地域の ESD 的活動の課題でもある。話し合いで出された解決のためのキーワードをいかに実践に現場での実践につなげていくかが、今後 ESD を広げる上でも重要な課題である。
2 月 15ー16 日 ESD 地域コーディネーター経験交流会 EPO スタッフ　1 名	環境省 ESD 促進事業のモデル地域であるかすがい KIZUNA プロジェクトのコーディネーターという立場で参加。全国の他のモデル事業との情報交換・経験交流をした。	どのモデル事業も完璧なものはなく、それぞれの特徴があり、そこを活かしつつかけている部分をいかに埋めていくかという議論であった。かすがい KIZUNA プロジェクトをいかに盛り上げていくか、全国とつながりながら検討していく。
2 月 18 日 第３回とよた ESD 分野連携ワークショップ 主催　とよた ESD ワークショップ実行委員会 共催　ESDーJ 場所　とよた市民活動センター 参加者　33 名 ESDーJ のもつソフトである ESD シナリオワークショップを豊田市で実施。	第 3 回は最終回ということもあり ESD を広げる連携プログラムを作成した。先回の意見を受け、継続を前提とせず発想を豊かに分野や立場を超えた連携プログラムを作成。子どもやお年寄り、外国人が集えるサロンづくり、子ども市民活動センターづくり、不登校の子どもが受け止められる社会づくり、過密人工林、放置された田畑の再生、子どもに感動を与えるといったプログラムが出された。最終回であり、ふりかえりと成果の共有をした。	3 回で事業が終わり、継続が見られないこと。この成果を活かす、形にする組織がないこと。EPO として今後どのような関わりをつくるか検討する必要がある。

2 月 21 日 ESDーT 担い手会議 ESD フォーラムのふりかえり フォローアップ講座に向けて ESD 全国ミーティングに向けて	ESD フォーラムをふりかえり、フォーラムの組み立て方についての課題等を共有し、フォーラムの成果を検討した。	フォーラムをイベントに終わらせるのではなく､成果をいかに次につなげていくか。
【総括及び所見】 かすがい KIZUNA プロジェクトをいかに育てていくか、この地域の大きなミッションである。地域にいくつもの多様な ESD 拠点をつくり、持続可能な社会をつくるための新しい学びの仕組みの必要性を社会に提示すること、少しずつであるが手がけていく。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　行政との協働の芽を探る		
事業内容	成果	課題
2 月 12 日 環境協働施策自治体交流会「環境パートナーシップ会議」 参加者：37 名 愛知・岐阜・三重の環境部局・協働部局を対象に､環境パートナーシップの現状と課題の把握と政策等の課題を解決する意見交換会を実施した。	環境部局 22、協働部局 9、計 31 自治体を巻き込み、抱える課題を基に意見交換の場を設定し、最初の関係づくりが行えた。	各々の現場レベルの課題を解決することと､政策などの自治体としての課題を解決できるためのニーズの把握とテーブル設定が不十分であったこと。
【総括及び所見】 課題の解決や自治体連携での施策実施等を促していくための動く状況をいかにつくっていくのかも次回は検討していきたい。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　企業との協働の芽を探る		
事業内容	成果	課題
2 月 29 日 環境コミュニケーションサロン事業 「ステークホルダーとの「対話力」～信頼される企業であるために」 参加者：32 名 「社員の対話力」､「ステークホルダーとの対話力」をキーワードに企業間で意見交換する場を設定した。	様々な企業との関係づくりの中で、意見交換の場を持ちたいというニーズを汲み取ることができ、各社の環境・CSR 等の取り組みも把握することができた。	各々の企業がメリットとなる情報交換の場の設定と議論のテーマ設定が不十分であった。
【総括及び所見】 大手企業と中小企業とで環境・CSR の取り組みが異なるため、設計が曖昧であった。CSR のモデルと社員が共に成長していけるパートナーシップ型の展開を企業間で促してく機会をつくっていきたい。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
2 月 7 日 なごや環境大学幹事会	なごや環境大学の幹事が集まり、今年度事業の進捗状況の確認と中長期ビジョンについての意見交換をした。	なごや環境大学が先進的なパートナーシップ事例となるよう、しくみや意思決定のあり方について具体的な提案を出す。
【総括及び所見】 それぞれの事業の中で、事業におけるプロセスにしっかりコミットし、参加や意思決定のありかた、ステークホルダーのバランスを提案し、パートナーシップ型で進むことによってどのような変化、成果が生じるかをイメージしながら、意見やアイデアを出すことが求められる。これまで携わってきた事例から抽出したパートナーシップの阻害要因などを整理し、各事業に活用できるようにしたい。		

コミュニティファンド事業		
事業内容	報告・成果	課題
2 月 24 日 コミュニティ・ファンドへの支援 融資先の評価ワークショップへの参加 参加者：24 名 コミュニティ･ファンドが融資先事業を評価するワークショップに参加し、コミュニティ･ファンドと融資先及び地域との関係性を確認した。	コミュニティ・ファンドの支援が融資先への影響とその事業における地域への影響力を把握するために現地視察に行った。	コミュニティ･ファンド自体の経営がボランティアベースでの運営のため､融資先への十分な支援ができていない状況や出資者や案件を増やすことができない弊害が出ている。
【総括及び所見】 コミュニティ・ファンドの安定した運営基盤を構築することが、地域の課題解決や融資先事業の拡大、出資者を増大につながる。既存の金融機関との連携や行政からの支援を組み合わせることも、安定した運営基盤と出資者・融資先の拡大にもつながるだろう。EPO の機能がそのハブとなればそれに越したことはないだろう。		

＊参考資料

【２月月報】

２　月		来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	金	8 (3)	15(10)	リコー中部㈱とのミーティング	4
2	土	2(2)	3(0)	ESD フォーラムに関するミーティング	2
3	日			名古屋大学 ESD フォーラム	1
4	月				2
5	火	6(3)	13(10)	中部電力打ち合わせ 愛知中小企業家同友会打ち合わせ ㈱INAX 打ち合わせ ㈱デンソーとの ESD フォーラムのミーティング ESD-T との ESD フォーラムのミーティング	4
6	水	8(2)	16(13)	㈱デンソーとの打ち合わせ 事務所との ESD フォーラムのミーティング	4
7	木	9(5)	21(5)	なごや環境大学ミーティング 竹市氏との打合せ ㈱山田組との打ち合わせ 中部 ESD 拠点協議会	3
8	金	4(2)	14(12)	㈱ブラザー工業との打ち合わせ ESD フォーラムプレ講座	4
9	土	1(0)	0(0)	ESD フォーラム	4
10	日				
11	月				1
12	火	16(3)	12(10)	自治体経験交流会	4
13	水	4(2)	15(13)	エコひいきミーティング ㈱ノリタケとの打ち合わせ 東邦ガスとの打ち合わせ	4
14	木	7(3)	20(15)		3
15	金	18(15)	14(11)	ESD 経験交流会 志サロン第 5 回	4
16	土	1(0)	0(0)	ESD 経験交流会	4
17	日				1
18	月			エコひいきミーティング 千頭氏とのミーティング	2.5
19	火	7(5)	12(11)		4
20	水	5(3)	10(8)	にんじん CLUB とのミーティング リコー中部とのエコひいきのミーティング	4
21	木	6(4)	19(15)	ワシントンホテル㈱とのミーティング ESD-T 担い手会議	3.5
22	金	9(3)	18(14)		3
23	土	2(1)	4(3)		3
24	日			momo コミュニティファンドワークショップ	2
25	月			エコひいき経験交流会	2
26	火	8(5)	14(12)	安城市役所とのミーティング ワシントンホテル㈱とのミーティング	4
27	水	9(5)	17(13)	NEXCO 中日本株とのミーティング 田中氏とのミーティング ユニー㈱とのミーティング	4
28	木	5(3)	14(11)	リサイクルワンとのミーティング	3
29	金	6(3)	10(5)	環境コミュニケーションサロン	4
合計 平均		141 名/21 日 6.71/日	261 件,		86 人 3.0 人/28 日

ホームページアクセス数：14,574 件

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

＊２月期収集資料　行政関連：16 種　企業関連：8 種　ＮＰＯ関連：35 種　その他：10 種　計：69 種

タイトル	年度	発　行	備考
なんじゃもんじゃ通信　Vo.19　No.1	2007	名古屋自然観察会　名古屋支部代表	B5　12P　日本語 2008.2.4　発行
平成２０年名古屋自然観察会会員による自然観察会の年間予定表	2007	名古屋自然観察会　名古屋支部代表	A4　1P　日本語 2008　発行
ムーアアカデミー通信　WINTER　第５号	2007	あいち海上の森センター（ムーアアカデミー）	Ａ４　4P　日本語 2008　発行
雑木林　2008 年　2 月号 Vol.207	2007	豊田市自然観察の森	A4　4P　日本語 2008　発行
「みゅーみゃーメダカ」と。「じゃんだらりんメダカ」 愛知県内におけるメダカの遺伝子の多様性について	2007	リリオの会	A4　3P　日本語 2008　発行
清流青湖　132 号	2007	社団法人　日本の水をきれいにする会	A4　20P　日本語 2008　発行
イベント案内　参加者募集	2007	国立木曽三川公園　アクアワールド水郷パークセンター	Ａ４　4P　日本語 2008　発行
4 月⇒7 月　パークセンター自然体験	2007	国立木曽三川公園　アクアワールド水郷パークセンター	A4　4P　日本語 2008　発行
水俣病の教訓を次世代に伝える～水俣から何を学び、何を伝えるのか～	2007	(財)水と緑の惑星保全機構	A4　1P　日本語 2008　発行
砂漠に緑をとりもどそう。内モンゴル　砂漠緑化ツアー　ゴールデンウィーク緑化隊　募集！	2007	国際環境 NGO　FoE　Japan	B5　1P　日本語 2008　発行
食と健康　そして環境　～人間の水、地球の水の浄化をめざして～	2007	みんなで水を語る会	A4　1P　日本語 2008　発行
あなたも参加しましょう！マイバッグ･マイバスケット推進運動	2007	瀬戸市/瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議	A4　1P　日本語 2008　発行
TRUE FOOD GUIDE 食べていませんか？遺伝子組み換え食品	2006	特定非営利活動法人グリーンピース・ジャパン	ハガキ大　28P 日本語　2008　発行
エコバックと草木染め自然観察会	2007	名古屋市徳川園管理事務所	A4　1P　日本語 2008　発行
みんなあつまれ！　エコキッズ･クラフトパーティー	2007	瀬戸市役所環境課環境保全係	A4　1P　日本語 2008　発行
こどもエコクラブニュース　2007　No.71 冬号	2007	環境省総合環境政策局環境教育推進室	A5　1P　日本語 2008　発行
こどもエコクラブ　サポーターズニュース 2007　冬号	2007	環境省総合環境政策局環境教育推進室	A4　4P　日本語 2008　発行

こどもエコクラブ　全国フェスティバル　in 北九州	2007	こどもエコクラブ全国フェスティバル in 北九州実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
しらべにいこうよ川･池･湖！　第 5 回身近な水環境の全国一斉調査	2007	全国水環境マップ実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
「みどりの小道」環境日記　2008 年参加募集のご案内	2007	財団法人グリーンクロスジャパン	A4　1P　日本語 2008　発行
環境省　こどもエコクラブ　環境にいいことはじめよう！	2007	こどもエコクラブ全国事務局(財)日本環境協会	A2 ポスター1P 日本語 2008　発行
近隣コミュニティ提案型地域づくりモデル事業　成果報告会	2007	愛知県	A4　4P　日本語 2008　発行
Ｇｒｅｅｎ　Ｅａｒｔｈ　ＦｏＥ　Ｊａｐａｎ　Ｎｅｗｓｌｅｔｔｅｒ	2007	国際環境ＮＧＯ　ＦｏＥ　Japan	Ａ４　8P　日本語 2007　発行
生物多様性 COP１０・NGO フォーラム	2007	生物多様性 COP１０・NGO フォーラム実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
第 3 回「自治体と NPO の協働環境調査」報告会	2007	NPO 法人　地域の未来・志援センター	A4　1P　日本語 2008　発行
みんなのかんきょう　５３	2007	福井県・環境ふくい推進協議会	A4　8P　日本語 2007　発行
青年育成グローバルプログラム　DENSO YOUTH　for　EARTH　Action	2007	株式会社デンソー	A4　4P　日本語 2008　発行
DECO ポン通の必読情報誌　デコ通　vol.4	2007	株式会社デンソー総務部企画 2 室 DECO ポン事務局	A4　8P　日本語 2008　発行
みんなのかんきょう　53	2007	環境ふくい推進協議会	Ａ４　8P　日本語 2008.1　発行
「サステナビリティ」というブランド価値	2007	立教大学 ESD 研究センター	A3 ポスター1P 日本語 2008　発行
第 8 回(2008 年)全国菜の花サミット in 信州・大町　食油文化の再生～地球温暖化防止と循環型社会をめざして～	2007	第 8 回(2008 年)全国菜の花サミット実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
第 8 回(2008 年)全国菜の花サミット in 信州・大町　食油文化の再生～地球温暖化防止と循環型社会をめざして～	2007	第 8 回(2008 年)全国菜の花サミット実行委員会	B3 ポスター1P 日本語 2008　発行
つながるエコ､ひろがるハッピー　なごや環境大学ガイドブック 2008	2007	「なごや環境大学」実行委員会事務局	A4　1P　日本語 2008　発行
ECO　meets　JAZZ	2007	なごや環境大学実行委員会	ハガキ大　1P　日本語　2008　発行
FC　EXCO　2008　第 4 回国際水素･燃料電池展	2007	リード　エグジビション　ジャパン株式会社	A3 大折　1P　日本語 2008　発行
生命はつながっている　生物多様性を考えよ	2007	環境省自然環境局自然環境計画課	A4　31P　日本語

う			2008　発行
ブラザーグループ CSR 報告書	2007	ブラザー工業株式会社	A4　57P　日本語 2007.6.22　発行
ブラザーのえこなものづくり	2007	ブラザー工業株式会社	B5　10P　日本語 2007.1　発行
社会・環境報告書 2006	2007	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	A4　28P　日本語 2006.7.18　発行
社会・環境報告書 2007	2007	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	A4　28P　日本語 2007.8.8　発行
chie's KITCHEN	2007	chie's KITCHEN	ハガキ大　1P　日本語　2007　発行
ぼらんぽ　vol.55	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　8P　日本語 2007　発行
花の夢　映画上映と東志津監督トーク	2007	名古屋 YWCA	A4　1P　日本語 2007　発行
さんぐりあ vol.76	2007	名古屋ＮＧＯセンター	Ａ４　12P　日本語 2008　発行
知るほど･ザ･ワールド　～世界とつながると、楽しい！カンタン！いいものみっけ！～	2007	国際理解教育セミナーin なごや実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
NGO 入門講座私もできる！～アフリカからの声を聴いて～	2007	なごやボランティア・NPO センター、（特活）名古屋 NGO センター	A4　1P　日本語 2008　発行
第 10 回世界フェアトレード・デー	2007	国際相互理解を考える会	A4　1P　日本語 2008　発行
川原啓美理事長が医療功労賞を受賞！	2007	財団法人アジア保健研修財団　アジア保険研究所	A4　1P　日本語 2008　発行
STOP　THE　WAR　3･20 国際行動　in　なごや	2007	STOP　THE　WAR　3･20 国際行動　in　なごや　実行委員会	A4　1P　日本語 2008　発行
2008　HOPE　Travel&Leisure　Auction	2007	HOPE　International　Debelopment Agency	A4　1P　日本語 2008　発行
ぼらんぽ　交流会　～出会いをチカラに～	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　4P　日本語 2008　発行
踏み出そう！はじめの一歩	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　1P　日本語 2008　発行
ボランティア入門講座　探してみようよ！あなたにできること	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　1P　日本語 2008　発行
ボラみみ　2008 February No.95	2007	（特定）ボラみみより情報局	Ｂ５　14P　日本語 2008.2.1　発行
地域たすけあい研修会 in きた	2007	財団法人さわやか福祉財団	A4　1P　日本語 2008　発行

希代翔トークライブ『ぼくらがぼくらであるために』-ぼくとあなたの縁をつなぐ出会いの旅ー	2007	多文化共生サークル smile 代表	ハガキ大　1P　日本語　2008　発行
第 4 回多国籍祭　Shanpy	2007	多文化共生サークル smile 代表	A4　1P　日本語　2008　発行
ボラみみ　2008March No.96	2007	（特定）ボラみみより情報局	B5　14P　日本語　2008.3.1　発行
みみ通信　ニュースレターvol.27	2007	（特定）ボラみみより情報局	B5　6P　日本語　2008.3.1　発行
全労済　地域貢献助成事業　募集　2008 年	2007	全労済　経営企画部内　地域貢献助成事業	A4　1P　日本語　2008　発行
犬山市市民活動支援センターしみんてい　ニュース　vol.33	2007	（特定）犬山市民活動支援センターの会	A4　6P　日本語　2008.2.15　発行
第 3 回きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会報告書	2007	環境省・社団法人日本の水をきれいにする会	A4　23P　日本語　2007　発行
第三次生物多様性国家戦略	2007	環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性地球政略企画室	A4　414P　日本語　2008　発行
相手がうなずく「立案力」！NPO のためのロジックモデル・ワークブック	2007	特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPO センター	A4　46P　日本語　2007　発行
NPO の NPO による NPO のための策定マニュアル　ロジックモデルをつくろう！	2007	特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPO センター	A4　100P　日本語　2007　発行
特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPO センター　中期戦略 2007	2007	特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPO センター	A4　12P　日本語　2007　発行
クマともりとひと	2007	日本熊森協会	A5　70P　日本語　2007.1　発行
環境の仕事に就く！②	2007	株式会社ソニー・マガジンズ	A5　190P　日本語　2007.11.20　発行
日系エコロジー　eco　March　2008	2007	日経 BP 社	A4　149P　日本語　2008.2.8　発行

【環境省中部環境パートナーシップオフィス　平成 19 年度３月事業報告】

【３月事業全般】

平成 １９年度中部環境パートナーシップオフィス運営業務（３月）は、新規のコミュニティファンド事業、下半期運営協議会、初めて三重県で環境コミュニケーションサロンを実施した。運営協議会に提出する今年度の事業報告・決算、次年度の事業計画・予算づくりにかなりの時間をさいた。また案件であった㈱デンソーの事業が動き出した。

【３月事業/会議日程】

コミュニティファンド支援	３月３日	コミュニティファンドワークショップ
環境パートナーシップ	３月６日	なごや環境大学プロジェクトチーム会議
協働提案事業 協働提案事業	３月７日	リコー中部㈱エコひいき事業打合せ ユニー㈱お店探検隊ふりかえり会
ESD の普及・啓発	３月８日	ESD-J 全国ミーティング
ESD の普及・啓発	３月９日	ESD-J 全国ミーティング
環境パートナーシップ ESD の普及・啓発	３月 11 日	なごや環境大学幹事会 ESDーT フォローアップ講座
運営協議会の開催 運営協議会の開催	３月 12 日	事業報告事業計画会議（中部地方環境事務所） 運営協議会運営に関する会議（千頭氏）
企業との協働の芽を探る	３月 13 日	中部電力㈱環境報告書を読む会（三重）打合せ
運営協議会の開催	３月 17 日	下半期運営協議会【金沢】
協働提案事業	３月 20 日	㈱ デンソーデコポン事業説明会
行政との協働の芽を探る 環境パートナーシップ	３月 23 日	名古屋市地球温暖化防止活動推進計画会議 名古屋市ものづくり拠点構想委員会
	３月 25 日	EPO 中部外部評価委員会
協働提案事業		リコー中部㈱ポイント事業 2008 に関する打ち合わせ
ESD の普及・啓発	３月 27 日	中部 ESD 拠点協議会
環境パートナーシップ ESD の普及・啓発	３月 28 日	愛知県廃棄物審議会 ESD-T 担い手会議

【Ⅳ　通常業務　情報基盤整備】ホームページアクセス数　12,445 件

収集した資料	行政関連	企業関連	NPO 関連	その他	合　計
	19 種	13 種	15 種	6 種	53 種

【Ⅳ　通常業務　オフィス運営管理】

３　月 開館日数 21 日	来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	展示内容	スタッフ数
合計 平均	137 名/21 日 6.52/日	252 件	今日の子どもの幸せが明日の平和な世界につながります。 幼い難民を考える会	87 人 3.0 人/29 日

【事業報告】

Ⅱ　重点テーマ　ESD 普及・啓発		
事業内容	報告・成果	課題
3 月 8−9 日 ESD-J 全国会議 全体会（世界の ESD、日本の政府の ESD、地域における ESD の取り組み ESD 事例発表 ESD 研究会「ESD のこれからをデザインする」（５つの分科会） 全体会「ESD のこれからを創造する」 中部での取り組み発表者他参加者:中部 ESD 拠点協議会 1 名、東海・中部 ESD 市民推進会議 1 名、かすがい KIZUNA1 名、ESD-T2 名、学生 2 名、EPO スタッフ 3 名	世界の ESD の動き、また日本の政府の ESD 推進方策が紹介された。また、地域における ESD の取り組みとして中部地域の ESD でつながるメンバーが、地域の活動と課題、ESD-J や政府への要望を発表した。また、各分科会で今後 ESD にどんなことが必要なのかという内容について話し合い、それぞれにキーワードを得た。	地域で ESD を推進する際に、地域だけで解決できない課題を、いかに全国のつながりや、政府に提言で解決していくか、そのサポートをいかにするか早急に検討が必要である。
3 月 11 日 ESD-T フォローアップ講座 「～地域で活躍する ESD コーディネーター＆実践 ESD シナリオづくり」 参加者：7 名	これまでの講座をふりかえり、ESD のしくみをつくるための戦略や、人と人、人とセクターをつなぐコーディネーションのあり方について参加型ワークショップで意見を抽出した。さらに具体的なムーブメントをおこすシナリオづくりを行った。	参加者が講座やフォーラムで考え出した重要なキーワードをいかに課題の解決に結び付けていくか、またどのように ESD を広めていくかが課題である。
3 月 28 日 ESD-T 担い手会議 ESD 全国ミーティング等の ESD 関連のイベント・動きについての報告 今年度 ESD-T の活動のふりかえり ESD-T の次年度ビジョンについての意見交換 EPO 中部の 2008 年度 ESD 事業のビジョンの共有	今年度 ESD-T で実施してきたことをふりかえり、見出してきた様々な ESD 的要素を再度共有した。次年度は、ESD を見える化すること、新たに事例調査することなど方向性を見出した。	個々の事情が重なったこともあるが参加者が少ない。ESD-T の活動をいかに魅力的なものにし、多くの人を巻き込んでいくかが課題である。
【総括及び所見】 全国ミーティングやこの地域で共有した課題、その課題解決に向け抽出したキーワードなど次の展開のための要素が見出されている。それらを整理し、実践に移するためにも ESD 的な仕組みを分かりやすく提示していくことが課題である。		

Ⅰ　協働提案事業		
事業内容	報告・成果	課題
3 月 20 日 ㈱デンソーDECO ポン説明会 場所：㈱デンソー会議室 参加者：4 名 ㈱デンソー　3 名 EPO 中部　　2 名	1 月よりスタートした DECO ポンの地域還元事業の説明会。参加者は少なかったが、今後の事業展開にコミットしていただける、顔の見える関係をつくることができた。	いかにこの事業を PR していくか。
【総括及び所見】 子どもの環境活動を対象にしたこの事業は非常に必要性があるものの、参加者を得るにはハードルが高い。学校現場や子ども会、子どもエコクラブをいかに巻き込むか、EPO のネットワークを活用して取り組む。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　企業との協働の芽を探る		
事業内容	成果	課題
3 月 13 日 中部電力㈱環境報告書を読む会 IN 三重 主催　三重県 協力　EPO 中部 参加者： 市民 中部電力　5 名 三重県　　3 名 EPO 中部　2 名	EPO 中部で実施していた環境コミュニケーションサロンを三重県主催で実施した。 三重県において企業の環境担当者と CSR 報告書を交えてコミュニケーションの場をもつことはこれまでほとんどなく、参加した市民や三重県職員はそういった場の必要性を実感していた。	中部電力㈱とのサロンは今後継続していくので、市民の動きが発生するテーマを抽出し、具体的な議論を組み立てることが課題である。EPO 中部としては三重県をサポートしていく。
【総括及び所見】 愛知県で実施してきた多様な講座・サロン・セミナーを他のエリアでも実施可能になるようにパッケージ化していきたい。		

Ⅲ　地域リクエスト事業　環境パートナーシップを促進する事業への参画		
事業内容	報告・成果	課題
3 月 6 日 なごや環境大学講座チーム会議 ＊次年度後期以降の講座のあり方の検討	次年度後期以降の講座のあり方の検討。講座の募集のあり方や受講生獲得のためのアイデア出しを行った。	これまでは講座を実施する側との協働に力を入れてきたが、次のステージではいかに 220 万人の市民になごや環境大学に参画していただくかという視点で、裾野を広げるための方法を検討していく必要がある。
3 月 11 日 なごや環境大学合同会議	各プロジェクトチームからの今年度評価と次年度計画の説明および次年度の体制の見直しについて意見交換した。	次のステージに移行するなかで、各プロジェクトの成果をいかに充実させていくか。
【今後の課題及び所見】 パートナーシップで進めている事業のプロセスをいかにわかりやすく分析し、社会に提示していくか。		

Ⅴ　コミュニティファンド事業		
事業内容	報告・成果	課題
3 月 3 日 コミュニティファンドワークショップ 場所：ウィングインターナショナルホテル会議室 参加者：16 名（内 EPO スタッフ 2 名）	環境省モデル事業の対象となっているコミュニティ・ユース・バンク momo の融資事業を通して NPO バンクの可能性と阻害要因になっている点について意見交換をした。	NPO バンクの社会的価値がまだまだ周知されておらず、必要性はあるとしても支援制度もなく、発展が非常に難しい状況にある。NPO バンクによる融資よってもたらされる地域の変化をいかに提示していくか、が重要である。
【総括及び所見】 今回初めて NPO バンク、コミュニティファンドをテーマに事業を展開したが、重要なのは「つなぐ」「パートナーシップ」であり、そこからいかにお金を生み出し、必要な事業に投資し、地域を改善するお金の循環システムをつくりだすことである。日本の制度の中では非常に難しいことではあるが、持続可能な社会の基盤になるはずである。そのしくみをいかにつくりだしていくか。今後も地域のステークホルダーと議論する場をつくっていく。		

Ⅵ　運営協議会の開催		
事業内容	報告・成果	課題
3 月 17 日 下半期運営協議会 場所:石川県環境パートナーシップ県民会議会議室 参加者数 学識経験者　2 名 NPO 等団体　10 名 企業関係　　1 名 行政　　3 名 環境省中部地方環境事務所　5 名 EPO 中部　　3 名 欠席　　10 名（NPO1 名　行政 9 名）	今年度の事業報告・決算と次年度事業計画・予算について意見交換をした。	運営協議会メンバーによって、EPO 中部のミッションや運営協議会の機能についての理解の差がある。年２回の会議でミゾをいかに埋めていくか。また協議会メンバーが主体となって動き事業をいかにつくりサポートしていくか。
【総括及び所見】 これまで 6 回運営協議会を実施してきたが、初期から関わっていただいている方とはやっと本音で議論ができるようになった。一方今年度から新たにご参加いただいている自治体職員、愛知中小企業家同友会の方とのコミュニケーションが不足している。EPO にとって重要なステークホルダーであるこの方々といかに事業をすすめ、地域の環境パートナーシップの取り組みに影響力を残していくか、次年度はプロジェクトチームで進めていく予定である。		

＊参考資料

【3 月月報】

3　月		来館者数 （相談・問合せ）	電話 （相談・問合せ）	相談・問合せ内容	スタッフ数
1	土	5(3)	2(0)		3
2	日				1
3	月			コミュニティファンドワークショップ	2
4	火	6(2)	15(10)		4
5	水	9(5)	14(9)	事務所との打ち合わせ	4
6	木	13(8)	10(5)	なごや環境大学ミーティング	3
7	金	8(5)	14(11)	リコー中部との打ち合わせ ユニーお店探検隊（鳴海店）ふりかえり	4
8	土	0(0)	1(0)	ESD 全国ミーティング	4
9	日			ESD 全国ミーティング	2
10	月				
11	火	12(9)	18(11)	ESD フォローアップ講座	4
12	水	5(3)	16(12)	事務所との打ち合わせ 千頭氏との打ち合わせ	4
13	木	7(4)	14(10)	中部電力㈱との打ち合わせ	3
14	金	4(2)	17(11)		4
15	土	0(0)	2(2)		3
16	日				1
17	月			2007 年度下期運営協議会	2
18	火	7(3)	18(10)		4
19	水	8(2)	15(11)	中部電力㈱三重県環境コミュニケーションサロン	4
20	木	7(3)	12(9)	㈱デンソーDECO ポン募集説明会	2
21	金	9(2)	15(11)		4
22	土	0(0)	2(2)		3
23	日				
24	月			外部評価に関する事務所との打ち合わせ 名古屋市ものづくり拠点構想委員会	2
25	火	9(3)	17(13)	外部評価委員会	4
26	水	9(2)	15(11)	リコー中部㈱との打ち合わせ 中部電力㈱エコポイント事業ミーティング	3
27	木	14(5)	18(9)	名古屋市地球温暖化防止推進計画関連の会議 中部 ESD 拠点協議会	4
28	金	5(3)	17(11)	愛知県環境審議会専門部会 ESDーT 担い手会議	4
29	土	0(0)	0(0)		3
30	日				1
31	月				1
合計 平均		137 名/21 日 6.52/日	252 件		87 人 3 人/29 日

ホームページアクセス数： 12,445 件

【中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集】

＊２月期収集資料　行政関連：19 種　企業関連：13 種　ＮＰＯ関連：15 種　その他：6 種　計：53 種

タイトル	年度	発　行	備考
緑と水の通信　第 95 号	2007	ナチュラリスト敦賀　緑と水の会	Ａ４　8P　日本語 2007　発行
新盛里山耕流塾　農のある暮らし　in 足助	2007	豊田市役所　足助支所　地域振興担当	A4　3P　日本語 2007　発行
雑木林　2008 年　3 月号 Vol.208	2007	豊田市自然観察の森	A4　4P　日本語 2008　発行
がらぼうだより　Vol.141	2007	NPO 法人　ガラ紡愛好会	B4　1P　日本語 2008　発行
ガラ紡の糸づくり体験会！	2007	NPO 法人　ガラ紡愛好会	A4　1P　日本語 2008　発行
エコプレス	2007	NEXCO 中日本	Ｂ５　10P　日本語 2007.9　発行
地域（まち）･環境サミット in 高山 2008　～まちづくり団体協働イベント～	2007	指定管理者飛騨コンソーシアム、高山ロータリークラブ、高山西ロータリークラブ、高山中央ロータリークラブ、NPO 法人地域の未来･志援センター/セブンーイレブンみどりの基金	A4　2P　日本語 2008　発行
近隣コミュニティ提案型地域づくりモデル事業　成果報告会	2007	愛知県	A4　4P　日本語 2008　発行
書籍案内「地球温暖化、しずみゆく楽園　ツバル」	2007	小学館	B5　1P　日本語 2007　発行
企業人のエコ･モチベーションアッププロジェクト「エコモチ」について	2007	エコモチ事務局：株式会社フルハシ環境総合研究所	A4　14P　日本語 2007　発行
企業人のエコ･モチベーションアップシステム「エコモチ」のご紹介	2007	株式会社フルハシ環境総合研究所 エコモチ事務局	A4　10P　日本語 2007　発行
資料「環境実践ホテルとしての取り組みひとつずつ」	2007	ワシントンホテル株式会社	A4　11P　日本語 2007　発行
eco-T エコット通信　第 5 号	2007	豊田市環境学習施設 eco-T	A4　4P　日本語 2007　発行
農文協特集　むらの元気　５つの知恵袋	2007	社団法人出版梓会　出版ダイジェスト	A3　8P　日本語 2008.2.1　発行
農文協特集　３つの「現代農業」	2007	社団法人出版梓会　出版ダイジェスト	A3　8P　日本語 2007.12.11　発行
デンソーエコポイント制度　ポイントと交換できる　エコ商品カタログ	2007	株式会社デンソー	A4　4P　日本語 2007　発行

ESD レポート　vol.14	2007	NPO 法人「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議	A4　8P　日本語 2008　発行
デンソーエコポイント制度地域還元事業「地域の環境への助成」スタート！！	2007	株式会社デンソー	A4　4P　日本語 2008　発行
中部電力「第 4 回ステークホルダー・ダイアログ」開催のご案内	2007	中部電力環境部環境経営グループ	A4　1P　日本語 2008　発行
日独米気候政策自治体パートナーシップ　日独ワークショップ　ｉｎ　名古屋	2007	名古屋大学大学院環境学研究科、ベルリン日独センター、気候同盟	Ａ４　1P　日本語 2008　発行
G8 環境大臣会合	2007	環境省 G8 環境大臣会合等準備室	A4 変形四折り　1P 日本語　2008　発行
住みたい！建てたい！伝えたい！「エコ・リュクス」なわが家～地球にやさしく、家族が心地よく暮らせるエコハウス～	2007	環境省地球環境局地球温暖化対策課国民生活対策室	A4　16P　日本語 2008　発行
六ヶ所村ラプソディー上映会@i-café	2007	i-café	B5　1P　日本語 2008　発行
～天国はつくるもの～上映会　107＋１＋てんつくマントークライブ	2007	愛知のＷＡ代表	Ａ４　1P　日本語 2008　発行
環境シンポジウム　リサイクル･ループ構築による食の安全と環境の保全	2007	有限会社三功	A4　2P　日本語 2008　発行
OUR　PLANET―私たちの地球―	2007	NPO 法人地球の友	A4 変形　30P　日本語 2008　発行
環境市民　自然環境樂校　20080412-0607	2007	NPO 法人環境市民	B3 ポスター　1P 日本語　2008　発行
環境実践レポート 2007　2007 年 8 月環境会議	2007	ワシントンホテル株式会社	A4　42P　日本語 2007　発行
ステークホルダー会議報告書　2004/2005	2007	リコー中部株式会社	A4　15P　日本語 2006.4.1　発行
CSR　REPORT　2007	2007	株式会社デンソー	A4　68P　日本語 2007　発行
リバイブ通信　創刊準備号	2007	株式会社リバイブ	A3　1P　日本語 2008.1　発行
畑と台所をつなぐ	2007	にんじん CLUB	A4　6P　日本語 2007.11　発行
特定非営利活動法人　起業支援ネット	2007	特定非営利活動法人　起業支援ネット	A4 三つ折　1P 日本語
aile　vol.60　3 月号	2007	特定非営利活動法人　起業支援ネット	A4　8P　日本語 2008.2.20　発行
コミュニティ・ユース・バンク momo　momo	2007	コミュニティ・ユース・バンク	B5 六つ折　1P

のしおり		momo	日本語　2008　発行
「まちと交通」～TTRI　News　Letter～　22号	2007	(財）豊田都市交通研究所	A4　4P　日本語 2008　発行
JBC・CSR　FUND　2008 年度奨学金・助成金希望者募集のお知らせ	2007	特定非営利活動法人ＪＢＣ・CSR 基金	B5　4P　日本語 2008　発行
ＰＲＯＪＥＣＴ　ＲＥＰＯＲＴ　2008spring NO.51	2007	国土交通省　中部地方整備局　東海幹線道路調査事務所	A4　14P　日本語 2008　発行
ぼらんぽ　vol.57	2007	なごやボランティア・NPO センター	A4　4P　日本語 2008　発行
春日井市環境基本計画　見直し版	2007	春日井市	A4　47P　日本語 2007.3　発行
春日井市環境基本計画　平成 14 年 3 月	2007	春日井市	A4　164P　日本語 2002.3　発行
東海市 NPO と行政の協働指針　とうかい協働ルールブック 2006	2007	東海市	A4　26P　日本語 2006.1　発行
愛知県環境基本計画　あいち環境社会の実現のために・・・　概要版	2007	愛知県	A4　14P　日本語 2002　発行
富山県総合計画　元気とやま創造計画	2007	富山県	A4　39P　日本語 2007.1　発行
とやまの環境「平成 19 年版環境白書」概要版	2007	富山県	A4　13P　日本語 2007　発行
長野県環境基本計画　2001 改定版概要	2007	長野県生活環境部環境自然保護課	A4　22P　日本語 2001.4　発行
岐阜県環境基本計画[概要版]（平成 18 年度～平成 22 年度）	2007	岐阜県環境生活部環境生活政策課	A4　12P　日本語 2006.4　発行
岐阜県環境基本計画（平成 18 年度～平成 23 年度）	2007	岐阜県環境生活部環境生活政策課	A4　132P　日本語 2006.4　発行
平成 19 年度版環境白書	2007	福井県	A4　140P　日本語 2008.2　発行
平成 19 年度版環境白書(資料編)	2007	福井県	A4　116P　日本語 2008.2　発行
日系エコロジー　eco　April　2008	2007	日経 BP 社	A4　206P　日本語 2008.3.8　発行
名古屋・東山新池ため池調査報告書	2007	名古屋ため池調査実行委員会	A4　112P　日本語 2008.2.23　発行
おカネで世界を変える 30 の方法	2007	合同出版	A5 変形 142P　日本語 2008.1.25　発行